

令和元年度 大分県産業科学技術センター 企業向け技術研修 一覧表 (詳細リンク先が準備中場合があります。)

No	担当	状態	テーマ名	詳細リンク先	概要	講師・説明者	開催日	開催場所	想定定員	受講料円/人	参加者数(延数) 企業・団体数 人数(A)
1	企画連携	実施済	職務発明制度推進セミナー	<a href="http://www.oita-ri.jp/10366">http://www.oita-ri.jp/10366</a>	職務発明規程の整備や運用、実務の在り方等を手探りでやっている知財担当者や企業技術者、研究者の方々に向け、平成27年度の職務発明制度改正内容や企業の改正への対応状況の確認、今後の課題等について解説することで、今後の実務等の指針として頂くことを目的として開催。	綱谷 拓氏 弁護士 (元特許庁総務部普及支援課 産業財産権専門官)	平成31年4月17日(水) 13:30~15:55	センター 多目的ホール	50名	無料	23 48
2	製品開発支援担当	実施済	グッドデザイン賞 個別相談会・応募説明会	<a href="http://www.oita-ri.jp/10205">http://www.oita-ri.jp/10205</a>	2019年度の応募を予定している企業に対して、応募の方法等について個別の相談会を実施する。また、応募を検討している企業に対して、申請の流れや受賞後のメリットを説明するとともに、応募から受賞までの体験談と受賞のメリットを紹介する。	日本デザイン振興会 渡部明子氏 センター製品開発支援担当職員	平成31年4月24日(水) 10:00~14:00	センター C201会議室 第1研修室	個別相談会8名 応募説明会	無料	8 8 10 12
3		実施済	3Dプリンター活用セミナー	<a href="http://www.oita-ri.jp/10464">http://www.oita-ri.jp/10464</a>	3Dプリンターの基礎/活用事例に関するセミナー 主に試作の用途で活用されている3Dプリンターについて、概要、最新動向、生産現場における活用事例を紹介	株式会社リコーAM事業センター 三浦 邦博 氏	令和元年9月11日(水) 13:30~16:30	センター 第1研修室	30名	無料	10 15
4		実施済	グッドデザイン賞 受賞企業 体験談セミナー	<a href="http://www.oita-ri.jp/10691">http://www.oita-ri.jp/10691</a>	県内外で受賞した企業から受賞によるメリットやGマークを使用したプロモーションにより事業化やブランド化に結び付いた事例を紹介する。 【講義】受賞対象の紹介とプロモーションについて	株式会社愛宕自動車 愛宕康平氏 THK株式会社 星野京延氏	令和2年1月29日(水) 13:30~16:30	センター 多目的ホール	30名	無料	9 23
5		実施済	ソファ製品開発のための体圧分布等の測定技術(オーダーメイド型)		ソファ製品開発のための体圧分布等の測定技術 体圧分布、骨盤傾斜角、ラグーリング等の測定技術の説明 体圧分布、骨盤傾斜角、ラグーリング等の測定技術の実習	大分県産業科学技術センター製品開発担当職員 エルゴシューティング(株) 代表取締役 野呂昌勇	令和2年2月6日(木) 9:00~16:00	福岡県工業技術センター インテリア研究所	10名	無料	7 8
		延期	低出力レーザ加工機普及講習会		R1導入予定の低出力レーザ加工機に関する、普及セミナーを行う。 講習会1.5時間、実機1.5時間	未定	令和2年3月頃	センター 第1研修室	10名	無料	
6	電子・情報担当	実施済	ノイズ計測セミナー	<a href="http://www.oita-ri.jp/10295">http://www.oita-ri.jp/10295</a>	ノイズ計測の基本ツールであるスペクトラムアナライザ・EMIテストレシーバの測定での注意点や、汎用ツールであるオシロスコープでのノイズ測定についてご講演いただきます。	ローデ・シュワルツ・ジャパン(株) 吉本修氏、伊藤卓氏	令和元年5月30日(木) 13:00~16:30	センター 第2研修室	20名	無料	3 9
7		実施済	生産現場におけるデスクトップ・ロボットアーム活用セミナー	<a href="http://www.oita-ri.jp/10360">http://www.oita-ri.jp/10360</a>	デスクトップに設置できるほど非常にコンパクトで、高精度なロボットアームの活用についてご紹介いたします。ロボットアーム「DOBOT Magician」は20万円以下で購入可能であり、部品のピッキングや、ロボット制御のプログラム開発、画像認識やAIを使ったロボット制御など、生産現場でどのように活用できるかを実際に体験していただけます。	株式会社アフレル 春木 賢仁氏	令和元年7月3日(水) 10:30~16:30	センター 第2研修室	12名	無料	10 13
8	電磁力担当	実施済	金属の残留応力測定講習(オーダーメイド型)	<a href="http://www.oita-ri.jp/10216">http://www.oita-ri.jp/10216</a>	X線残留応力測定装置の基本事項や主な機能について説明し、実際に金属試料を観察することにより操作手順を習得します。	産科技セ 電磁力担当職員	随時募集 令和元年12月まで 平日8:30-17:00のうち 2h程度	センター D104	3名程度	無料	3 7
9		実施済	自動車・機械金属産業に適用できる磁気測定セミナー	<a href="http://www.oita-ri.jp/10395">http://www.oita-ri.jp/10395</a>	磁粉探傷、渦電流探傷、永久磁石の着磁、鋼材の消磁などを解説します。 あわせて、産科技セでの開発事例を紹介いたします。	日本電磁測器(株)講師 産科技セ 電磁力担当職員	令和元年7月30日(火) 13:00~15:00	センター 第1研修室	20名程度	無料	4 7
10		実施済	ISO/IEC 17025システム基礎講座	<a href="http://www.oita-ri.jp/10331">http://www.oita-ri.jp/10331</a>	近年各種試験結果への信頼性に対する関心が高まる中、グローバルな取引に必須であるISO/IEC 17025(校正機関及び試験所の能力に関する一般要求事項)が2017年11月30日付で改定発行され、全ての試験所・校正機関は移行期限(2020年11月末日)までに新規規程による認定への移行の完了が必須となりました。 このたび、ISO/IEC17025システムの運用に新たに関わられる方、理解を深めたい方を対象にISO/IEC 17025システム構築基礎講座を開催します。	JFEテクノリサーチ㈱ ビジネス コンサルティング本部 セジナスサポート部 マネジメント 支援Gr 受託研究員(JAB登録 審査員)	令和元年8月23日(金) 9:30~16:30	センター 第2研修室	20名	無料	5 18
11	実施済	実施済	実習で学ぶはじめての電磁界解析	<a href="http://www.oita-ri.jp/10622">http://www.oita-ri.jp/10622</a>	これから電気機器を設計開発を行う技術者、または電磁界解析ソフトウェアの利活用に興味のある技術者を対象とした初學者向けの技術研修。 【講義】境界解析のための基礎知識 【実習】機器設計体験(モータ編)	(株)JSOL セミナー講師	令和元年9月6日(金) 13:00~16:30	センター 第2研修室	10名(最大)	無料	4 5
12		実施済	レーザドップラ振動計活用セミナー - 振動・騒音を非接触で、ピンポイントで測定 -	<a href="http://www.oita-ri.jp/10665">http://www.oita-ri.jp/10665</a>	電子部品から大型構造物までの振動や騒音を非接触で、ピンポイントで測定できるポリテックジャパン株式会社製レーザドップラ振動計VibroFlex導入機器について、最新のレーザドップラ振動計の活用を主に振動測定技術の基礎と活用事例などについて研修を行います。	ポリテックジャパン株式会社 営業部 アカウントマネージャー 中川竹和 氏	令和2年1月9日(木) 10:00~11:30	センター 第2研修室	20名	無料	9 12
13	機械担当	実施済	3D-CAD活用セミナー	<a href="http://www.oita-ri.jp/10617">http://www.oita-ri.jp/10617</a>	3次元デジタルデータの作成ツールである3D-CAD(SOLIDWORKS)について、最新の活用方法及びモデリングに関するセミナーを開催。 ・第一部(座学)3D-CAD(SOLIDWORKS)の概要説明、導入効果、データ管理、構造解析など ・第二部(実習) 先着8名限定 3D-CAD(SOLIDWORKS)のモデリング体験 ・質疑応答/個別相談	ソリッドワークス ジャパン株式会社	令和元年10月29日(火) 13:00~17:00	センター 第1研修室	30名 実習は10名(先着)	無料	12 18
14		実施済	精密測定技術講習会 ~三次元測定機による精密測定のツボ~	<a href="http://www.oita-ri.jp/10702">http://www.oita-ri.jp/10702</a>	高精度なモノづくりにには欠かせない三次元測定機について、最新の知見に基づいた精密測定技術を学びます。「三次元測定機における誤差要因と最新の測定技術」「三次元測定機で測定する幾何公差」「実機デモ」	株式会社 東京精密 計測センター アプリケーションチーム	令和元年12月11日(水) 13:30~16:50	センター 第1研修室	20名	無料	8 14
15	金属担当	実施済	顕微鏡観察・硬さ測定等の評価試料作製および評価技術の研修	<a href="http://www.oita-ri.jp/10201">http://www.oita-ri.jp/10201</a>	顕微鏡観察や硬さ測定等を行う際に必要となる評価試料作製方法を個別に持ち込まれた試料を用いた作製実習を通して習得します。また、試験機を用いて評価試験の実習を行い、試験方法を理解・習得します。 1. 評価試料作製と評価試験に必要な知識の説明(約30分) 2. 評価試料の作成(実習、約3時間(評価目的、試料の種類等により異なる)) 3. 評価試験の実習(1時間)	センター-金属担当職員	令和2年2月28日まで 随時募集 (事前の日程調整要)	センター 第1研修室	1回につき3名以内(原則1人/回)	1,200	2 4
16		実施済	分かりやすい卓上型走査電子顕微鏡セミナー	<a href="http://www.oita-ri.jp/10577">http://www.oita-ri.jp/10577</a>	昨年度JKA補助により導入した卓上型走査電子顕微鏡は、コンパクトながら豊富な機能やオプションが付いており、各種材料表面の微小部観察や元素分析を手軽に行うことができることから、県内に集積する自動車、半導体、医療機器、機械・金属等の幅広い分野で利用が期待されています。本セミナーでは、卓上型走査電子顕微鏡の基礎から操作方法まで分かりやすく解説するとともに、きれいな画像を取得するためのテクニックやデータの見方といった応用的な内容もデモ機による実演の中で行います。	(株)日立ハイテクノロジーズ 及びブルカージャパン(株)の 技術者	令和元年11月12日(火) 13:15~16:55	センター 第1研修室	20人	無料	8 19

令和元年度 大分県産業科学技術センター 企業向け技術研修 一覧表 (詳細リンク先が準備中の場合があります。)

No	担当	状態	テーマ名	詳細リンク先	概要	講師・説明者	開催日	開催場所	想定定員	受講料円/人	参加者数(延数) 企業・団体数 人数(A)
		延期	3Dものづくりのための高性能マイクロフォーカスX線CTシステム導入セミナー		平成30年度補正予算「地域新成長産業創出促進事業費補助金(地域未来オープンイノベーション・プラットフォーム構築事業)」で導入する高性能マイクロフォーカスX線CTシステムのキックオフセミナーとして、X線に関する基礎知識から当該システムの特徴に至るまで、活用事例を交えながらわかりやすく解説するとともに、3Dプリンタの普及により注目の集まるデジタルエンジニアリングへの活用等、最新の技術情報についても紹介します。	導入システムメーカーの技術者	令和2年3月19日(木) 13:30～16:00	センター 第1研修室ほか	25人	無料	
17		実施済	熱分析装置セミナー	<a href="http://www.oita-ri.jp/10290">http://www.oita-ri.jp/10290</a>	熱分析装置は、プラスチックや無機材料などを加熱・冷却し、その物理的性質を温度の関数として測定する装置です。物質の重量変化・形状変化・比熱など、様々な情報を得ることができるため、プラスチックの熱解析や未利用資源の開発などに幅広く利用されています。本セミナーでは、熱分析について基礎から学べる講義をはじめ、センターで更新した最新型の熱分析装置について、実演を交えてご説明します。	株式会社リガク装置担当者	令和元年6月20日(木) 13:30～16:30	センター 第1研修室B206	10名	無料	7 10
18		実施済	X線分析顕微鏡セミナー	<a href="http://www.oita-ri.jp/10571">http://www.oita-ri.jp/10571</a>	蛍光X線分析の原理を学習する。X線分析顕微鏡を使って、出来ること・出来ないことの見極めを付ける。X線分析顕微鏡の基礎を学び、正しく分析できるようにする。	株式会社堀場製作所	令和元年8月27日(火) 13:30～16:30	センター 第2研修室	10名	無料	12 19
19	工業化学担当	実施済	FT-IRセミナー	<a href="http://www.oita-ri.jp/10626">http://www.oita-ri.jp/10626</a>	FT-IRは主に有機物の分析に用いられ、プラスチック成形・自動車・半導体・医療機器など、幅広い業界異物分析、品質管理及び研究開発用途等に利用されています。本セミナーでは、FT-IR分析について基礎から学ぶことができる講義やサンプリングから分析までを実演するワークショップ等を予定しています。	サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社装置担当者	令和元年10月31日(木) 13:30～16:30	センター 第1研修室C303	30名	無料	6 13
20		実施済	化学実験・分析基礎セミナー	<a href="http://www.oita-ri.jp/10654">http://www.oita-ri.jp/10654</a>	天びん、ガラス器具、試薬の扱いは化学分析の基本ですが、知られていないことも意外と多くあります。そこで、これらの操作について基本に立ち返り、正確な操作ができるようにセミナーを開催します。新人教育やスキルアップのためにご参加ください。 1. 電子天びん・・・基礎知識と日常点検など 2. ガラス器具の正しい使い方・・・ガラス体積計の目盛りの読み方など 3. 試薬の安全管理・・・化学物質に関する法順守のポイントなど	(株)クライミング 技術者 メトラー・トレード(株) 技術者 富士フィルム和光純薬(株) 技術者	令和元年11月19日(火) 13:30～16:45	センター 第1研修室	25名	無料	20 47
21		実施済	きき酒講習(オーダーメイド型技術研修)		実サンプルを用いた、清酒、焼酎の特徴的な香りの解説、味・香りの官能評価方法の解説。	食品産業担当	令和元年6月27日 17:00-18:00	別府市北浜 山田別荘	20	無料	12 16
22		実施済	第1回食品加工技術高度化研修会「食品表示について」	<a href="http://www.oita-ri.jp/10210">http://www.oita-ri.jp/10210</a>	「食品表示」をテーマとする食品加工技術高度化研修会を開催します。 2015年4月1日に「食品表示法」が施行されました。これはそれまであった「食品衛生法」「JAS法」「健康増進法」を一元化し、よりわかりやすい食品表示制度を作るために施行された法律です。この新法に基づく表示への完全移行までの猶予期間は2020年(令和2年)3月31日(原料原産地表示は2022年3月31日)です。猶予期間の最終年度に開催する今回の研修を受講いただき自社製品の表示内容の確認にお役立てください。	フーズテクニカルサービス 副代表 弘蔵周子 氏	令和元年7月23日(火)	センター 多目的ホール	50名	無料	39 100
23		実施済	第2回食品加工技術高度化研修会「HACCP導入に向けて」	<a href="http://www.oita-ri.jp/10610">http://www.oita-ri.jp/10610</a>	2018年6月30日 15年ぶりに食品衛生法の改正が公布され、原則として全ての食品関連事業者が「HACCP」に沿った衛生管理を行うこととされました。公布から2年以内に法律が施行され、さらに1年間の猶予期間が設けられた後、完全義務化されると考えられています。今回は「食品加工と殺菌」という演題でHACCPの考え方の基本となる加工と微生物の関係の話を中心に講演を行います。	フーズテクニカルサービス 代表 弘蔵守夫 氏	令和元年11月27日(水) 13:30-16:30	センター 第一研修室	40名	無料	27 41
		延期	第3回食品加工技術高度化研修会								
24	食品産業担当	実施済	微生物検査技術研修	<a href="http://www.oita-ri.jp/10302">http://www.oita-ri.jp/10302</a>	「食の安心・安全」のためには、食品製造所内の清浄度の向上や製造段階の生菌数の低減、流通段階での微生物制御が重要となるため、微生物検査の考え方や試料の取り扱い、培地の調製法など実技を中心とした技術研修を行います。	センター 食品産業担当	随時募集 (1社毎個別対応) 平日9:00-12:00または 13:30-16:30	センター内	2-3名/回	無料	5 10
25		実施済	食品の賞味期限・消費期限設定のポイントとその方法	<a href="http://www.oita-ri.jp/10311">http://www.oita-ri.jp/10311</a>	賞味期限・消費期限の設定は、食品の特性、品質変化の要因や原材料の衛生状態、製造工程での衛生管理、容器包装の形態、流通・保存環境など様々な要素を勘案し、科学的、合理的に行うことが必要です。 そこで、賞味期限・消費期限設定の際の基礎と留意すべきポイントと併せて、科学的根拠になりうる微生物試験、理化学試験、官能試験等の設定方法を、実技を交えて個別に解説します。	センター 食品産業担当	随時募集 (1社毎個別対応) 平日9:00-12:00または 13:30-16:30	センター内	2-3名/回	無料	5 11
26		実施済	食品の品質管理技術向上のための機器分析	<a href="http://www.oita-ri.jp/10321">http://www.oita-ri.jp/10321</a>	自社製品の品質維持、向上のためには、まず製品毎の特性を知ることが鍵となります。その評価の手法として機器分析を取り入れることができれば、「安全・安心」な製品を安定的に生産することが可能となります。そこで、品質評価のターゲットとなる成分を見極め、その分析技術導入のための支援を総合的に行う研修を、各社の要望に対応した内容で個別に実施します。	センター 食品産業担当	随時募集 (1社毎個別対応) 平日9:00-12:00または 13:30-16:30	センター内	2-3名/回	無料	3 6
27		実施済	適切な食品表示のための技術研修	<a href="http://www.oita-ri.jp/10370">http://www.oita-ri.jp/10370</a>	食品表示法の経過措置期間が1年を切り、適切な食品表示を行うことが必要です。食品表示には幅広い記載内容があり、製造業者の規模や販路などに応じて、対応すべき点も異なります。そこで、食品表示法の概要、表示の基本的な内容から、注意すべき点を解説し、食品表示の項目、内容について、各企業の商品に対応した個別の表示確認、指導を実施します。	センター 食品産業担当	随時募集 平日9:00-12:00または 13:30-16:30	センター内	2-3名/回	無料	14 21